

I 自己評価

1 学校教育目標	1 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 2 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 3 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	◇生徒指導部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生徒・保護者とも概ね良好と答えている。今後も地道な指導や継続した取り組みをしていく必要がある。 ・生徒と保護者の認識に差がある。生徒はいじめや体罰について数値が下がっているが、保護者は適切な指導やいじめ対応は大きく数値が上がっている。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇生命の安全を図る・・・交通事故防止 ◇基本的生活習慣の確立・・・遅刻防止 ◇教育相談の充実・・・いじめ防止	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・交通事故防止・・・啓発活動や外部組織との連携を図る。 ・遅刻防止・・・担任・学年・学校で連携して指導する。 ・いじめ防止・・・全職員がアンテナを高くし生徒の変化に気付く。 【報告・連絡・相談】できる体制	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 機会を捉え啓発活動を継続する。 (2) 粘り強い指導を継続する。 (3) 生徒の変化に気づき声掛けをする。	(1) 交通事故件数を1割減らす。 (2) 遅刻者数を2割減らす。 (3) 教育相談室の利用状況。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・1年生を対象に自転車運転免許証を発行する取組が4年目を迎えた。余裕を持った登校に対する継続的な指導および遅刻常習者に対する改善指導を強化する。 ・悩みを持つ生徒に対し、担任・学年・教育相談等が連携し対応する。	① 事故件数の減少や交通マナーの向上に結びついているか。 ② 遅刻件数と遅刻常習者に対する指導。 ③ 家庭との連携を図り、情報交換ができる関係を築く。	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○全職員による地道な生徒指導が継続してできている。遅刻者の減少に伴い交通事故の件数が減少している。 ○問題行動は減少し、落ち着いた学校生活を送っている生徒が多い。 ○迷惑調査を活用して、担任と学年主任、生徒指導部と教育相談が連携して初期対応が出来ている。 ○友人関係のトラブルや学校不適応感のある生徒に対する対応を教育相談、学年、担任と連携しながら指導を行っている。 ▲頭髪服装が不十分な生徒や遅刻の多い生徒がいるので、効果的な指導を考えていきたい。また、保護者の協力を得ながら粘り強い指導を継続したい。	
12 来年度に向けての改善方策案（学校評価アンケートを踏まえて）		
・生徒アンケートは概ね良好であるが、いじめや差別に対する数値が下がり80%を下回っている。これまで同様、教育相談と学年、担任等との連携を深めて指導をしていく。また、今年度の指導が来年に繋がるように機会を捉え、しっかり説明し理解できるように努める。 ・保護者アンケートは昨年度と比較し、「教育相談係が個々の生徒に対して適切な指導を行っている」「いじめや差別を許さず、厳しく対応している」の数値が大きく上回っている。生徒に寄り添い、きめ細かな対応や生徒の指導が理解されていると感じられる。 ・迷惑調査から、女子生徒の防寒着についての要望があるため、生徒会と連携（生徒からの働きかけを重視して）して要望を取り上げていきたい。 ・学年会、進路指導、各学科と連携して、制服の着こなしセミナーを適時実施して、制服の正しい着こなしを指導するとともに、生徒自身にも意識させる活動を行う。 ・PTA総会・合同委員会・学校行事などで積極的に保護者と関わりを持ち、より多くの情報を発信していきたい。		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年2月8日

【意見・要望・評価等】 ・学年全体を見ると、2年生は遅刻が多いと報告されているが、学校と家庭が連携を密にし、保護者の協力を得ながら、遅刻が少なくなるようにすることが大切である。
